別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏 (法人にあっては名称) 住 (法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 254-0807						生地)							
名 株式会社アイメックス					所	所神奈川県平塚市代官町11-25							
本票作成	部署	名:	業務認	果施設係									
主たる業種 ^{分類} 16 業種名:化学工業													
事業の 概 要	事業	約容	: トナ	一製造及	びトナ	ーカート	リッジリ	サー	イクル業				
	番号	<u>コ</u> ,		工場	景等の名	名称				所 右	E :	地	
	1	D 株式会社アイ		アイメッ	ックス			岡山市北区御津高津1630-8					
県内の													
主 な 工場等													
上物守													
114 - 1 - 1 - 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		7 04	かました [百油協質1	E001-017	L D Ox	* フェートラッカ	100	台、タクシー25	0411 L		vo +46 答c	1.12 .000
特定事業 の該当要			公村寺// [場等(300KUD	1 所			百、970-25 百台数(②i			U2揆异:	台)
温室効果な	iス	基準 ^年	F度(平	成 26	年度)	(令	和元)年	度排出量	目標年	度(令	·和	1 年度)
排出量	F		2	20,700 to	CO_2]	12, 5	568 t CO ₂		2	22, 612	t CO ₂
	:	番号 工場				景等の名称			(令和 元)年度排出量				
		1	株式会	会社アイメ	リックフ	ζ					1	2, 568	t CO ₂
主な工場	公												t CO ₂
土な工場の排出量													t CO ₂
													t CO ₂
													t CO ₂
													t CO ₂
水1/2/4 口 1 元		計画期	引間:	平	成 2	7 年度	~		令和 1	年度	(5	箇年度)
削減目標 達成状泡			総排出	出量基準	(7	.) 年	度削減実	績	目標削	減率		目標達	
		✓:	原単位	立基準		△10.6	%		1. 5	5 %	□ 達	成	☑ 未達
(原単位基	淮	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容					の内容	原単位当たり排出量					
の削減目標	を		F度生活 F 度 生活		544t				準年度 059	<u>(</u> 元 1.170)年度)		<u>標年度</u> . 043
選択してい 場合に記入	` '		F度生成 元年生成		680t 738 t		t			t co ₂ /(t		t CO ₂ /	
(該当事業	生者の	み記る	<u> </u>	<u> </u>				/	·	002/		- 502/	<u> </u>
ベンチマー				の名称		ベンチマ	一ク指標		関連数	値(令和	元	年度)	達成率等

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和	元 年月	麦) 達成率等
指標の状況					

【削減状況の自己評価】 コンプレッサーエアー漏れ削減、空調温度の設定による空調負荷の低減等を実施したが市況の変化に よる生産量の大幅な減少及び原単位の高いカラートナー比率の増加により原単位の平均値が増加し た。

[‡	4.准	体制	١
1 1	H- 1 H	1/4× mii	- 1

省工ネ推進組織体制

責任者:事業所長 推進メンバー:製造部長.製造部業務課施設係、エネルギー管理者 事務職:製造部業務課施設係

「日煙削減率達成のために実施」を堪置及び合後の取組】

【日標則减挙達成のために美施	1. した疳直及い今後の拟組】
工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
	(令和元年度実施分) ・OA機器の節電 ・工場内照明設備の不必要時間での消灯の徹底 ・空調温度の設定による空調負荷の低減 ・コンプレッサーの漏れエアー削減対策
	(今後実施予定分) ・コンプレッサー設備更新時省エネ機器の導入。(予定1台更新) ・空調温度設定による空調負荷低減の継続 ・生産性向上による原単位の削減

【森林保	全等呀	と収源対策への取組】
県内で の取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内で の取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】 特に無し
特に無し